

## 上秋津区域の治山対策に関する技術検討会（第1回）の概要

### 1 開催日時等

日時：令和元年10月29日(火) 13時00分～16時00分

場所：上秋津農村環境改善センター

### 2 議事

- (1) 地形地質の概要について
- (2) 既往災害の履歴について
- (3) 7月28日の崩壊状況について
- (4) 調査地の地すべり機構について
- (5) 現時点の工事計画について
- (6) 実施中の対策工について
- (7) 今後の対策について

### 3 出席者（検討委員及びオブザーバー）

#### <検討委員>（五十音順敬称略）

江種 伸之 和歌山大学システム工学部 教授  
岡本 隆 (国研) 森林研究・整備機構森林総合研究所  
森林防災研究領域山地災害研究室 室長  
松浦 純生 京都大学防災研究所 教授

#### <オブザーバー>

西山 久雄 和歌山県農林水産部森林・林業局 局長  
楠見 和紀 和歌山県県土整備部道路局 局長  
宮脇 寛和 田辺市総務部危機管理局 局長  
清水 健次 田辺市農林水産部森林局 局長

### 4 概要

上秋津区域の地すべり対策をより効果的なものとし、地域の安全を守るため、現行の対策に加え、さらに追加すべき対策や調査の必要性等について検討することを目的として開催しました。

当検討会は年度内に3回開催して取りまとめを行う予定であり、第1回目となる今回は、地形等の現況、実施中の工事の概要を踏まえ、今後の取りまとめに必要な調査等について有識者から助言をいただきました。

有識者から出された主な意見は、以下のとおりです。

- ① 引き続き伸縮計等を用いて地盤の動きを計測する調査を継続し、本体ブロックと末端ブロックの連動性を整理し、今後の地すべり活動と末端部の拡大崩壊の推定につなげてもらいたい。
- ② 地すべりの絶対的な変位量を把握できる観測方法として、GPS 等を活用できないか。
- ③ Aブロック上部ではボーリング調査結果等から地下水位が不連続な部分が見られるため、さらに詳細な調査も実施してはどうか。
- ④ 上秋津地区において、地すべりの現象により、どのような災害現象が発生する恐れがあるのかシミュレーションできないか。
- ⑤ 各対策工について、どのブロックのどのような現象に効果を発揮するのかを明確にして、各ブロックの今後の動きの経過等を踏まえつつ、各対策工の優先度合等を検討していくことが重要である。

# 上秋津区域の治山対策に関する技術検討会(第1回) 令和元年10月29日



現地調査の様子



説明を受ける松浦座長、江種委員



冒頭挨拶をする長田局長



検討会の様子